古刀銘畫大全

燒刄忠押形并彫物

七

古刀銘盡大全巻之七

○山城粟田口物

カク

カク

吉光

一尺二寸八分

吉光

吉光

吉光 一尺九寸五分 長刀直し

カク
カク
国吉
ウラニ
弘安六年
国吉
国吉
ニクアリ
ニクアリ
国友
ニクアリ
カクニシテ小肉
久国
光ウスシ
ホウシノ内
忽別ヨリモヨク沸之
ムラ子ニユハシリ有
半分ヨリ上ハスク刃
刀半分ヨリ下ハ丸ク足ニテ乱之
ウラノ方ニアリ
丸
丸
藤次郎久国

則国
国安
国綱
カヘス切先
国綱
両面トモ腰及同じ

三條物

宗近

三条

宗近

ウラノ方切刃也
此梵字アリ

吉家作

ム子カク肉アリ

先次第ニウスシ

肉アリ

宗近弟子

在國

角ニシテ肉アリ

先ウスシ

肉

三条吉則

ム子小肉アリ

三条吉則泉國作

小肉アリ

少肉アリ

地フニテハチレ刃ヨリムキハウスク有キハエテ地フニニエル
刃フチ内外ヘ細ニニエタリ又ニエサル所ハ雲凡ニ似タリ

綾小路住

定利

來之一類

國行ノホリモノ
國行
國行
國行

國俊

國俊

ム子九シ

タレノ心アリ刃ノ上ニハ八ニ乗ノ走リタルヤウニ匂ヒイヅルワニヒノ手ノトク丁子先ニガル玉處ニアリ

國俊

来國俊

ム子ミヤク丸

カク

カク

来國俊

國俊 國光 國次三人共ニ来ノ字ニ習ヒアリ

カクサンレ、

来国次

カク

カク

来国次

カク

来国次

カク

日

来国光

カク

日

来国光

肉

光包

小二分

光包

来國光

京物

信國

月

肉

平安城信國

貞治六年三月日

源左衛門尉信国

応永廿一年二月日

表上リ龍下リ龍

裏梵ノ内ニクリカラ龍

サシ

カゾ

〇長谷部国重

キタヒ木エ

ヨクニエ 位ヨク見エル

〇延文五年十二月日

〇長谷部国重

〇平安城住光長

ソリヨリ下少肉ノ心アリ双カタモ中程ヨリ下丸シ

地アレテネ出来 来国光ニ似タリ 来生後ト打名丹波物ニ能似タリ 広シ 三分ヨシ

○平
○安城長吉作

裏ノ方ハ切双ナリ

○達磨

○大和

天國○○

國行

棟角ニ〆肉アリ

つくし

祖父
疵ニクアリ
○千手院
行信
ニク
○アリホウシ
當麻ナリ
地ニカスリトテ
立ニヤケ乱内沸ヲ有
是ヨリ上ハ刃フトク細キ所ハ沸スクナシ
刀ノ巾一寸アマリハレノキ厚サ四分有ヘシ是大和ノオキテ也カヘリ焼ツメタリ自然カヘリノ有モアルヘシ
友行
角
大和包永ニ似タリ包永ヨリ
沸コマカ成所ヽニエキルヽ
千手院ノ如ク成刃モアリ
○國行
當广

ニクアリ
重弘
義弘
大和国添上郡千手院義弘
〇之重
千手院
重弘子
テカイ
包永
タトヘハレイキノ巾四分アラハ平ノ巾六分大畧有ヘシ
包永

包永○

二代目

尻掛

大和則長作

○

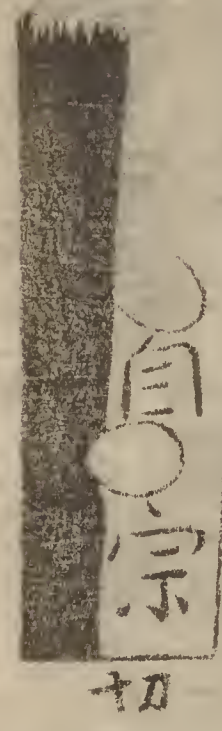
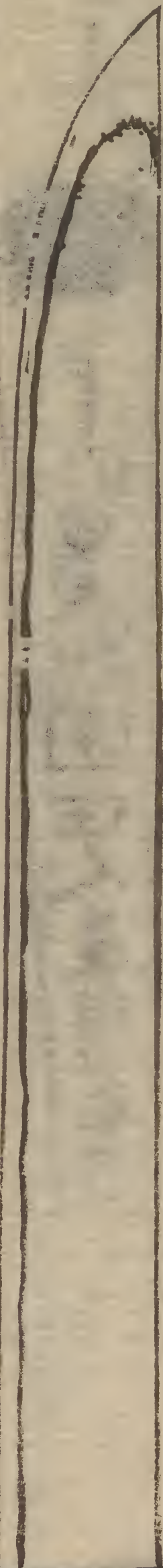
カク

大和○則長作

カク

二代目

保昌五郎貞宗 地肌正目ナリ

保昌貞宗作

貞○宗

十切

○大和国住人藤原貞吉
保昌一類ナリ
○相州鎌倉牧
○相州鎌倉住朴行光
ム子丸ミ
○元徳三年
廿五日
丸ミ
○○行光
○元亨二年三月
○鎌倉住人行光
カク
行光ノ表裏

行光
元暦三年八月日
相州住正宗
カク
カク
正宗
カク
正宗

宗

正宗表ノ方ホリモノ

カク

カク

正宗

正宗

正宗

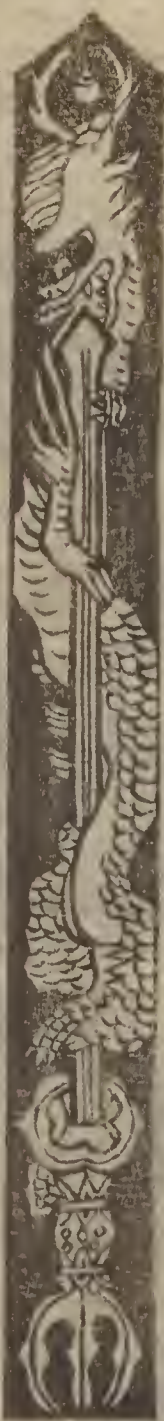
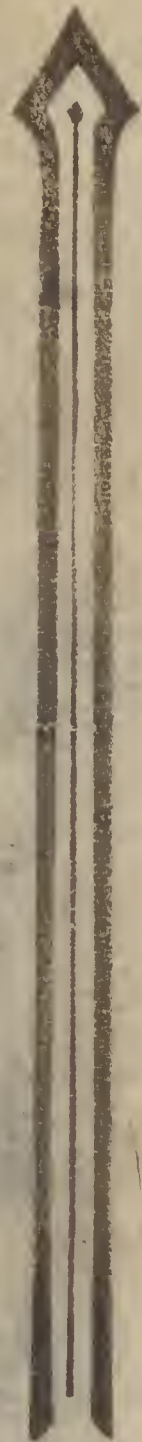
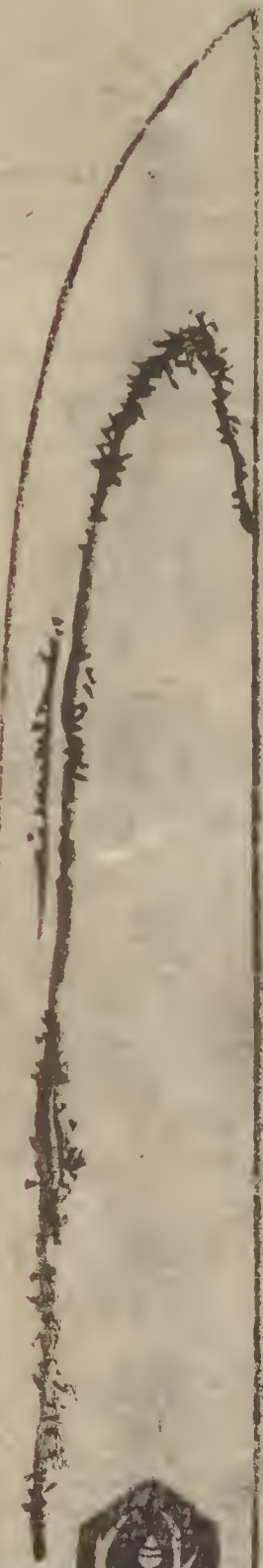
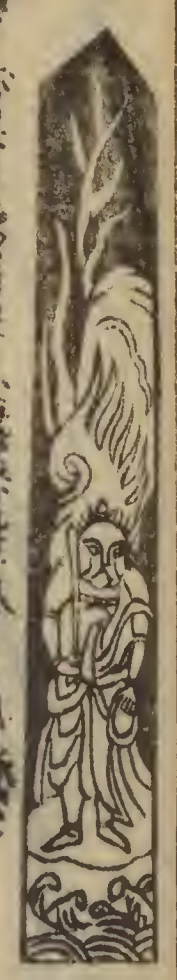
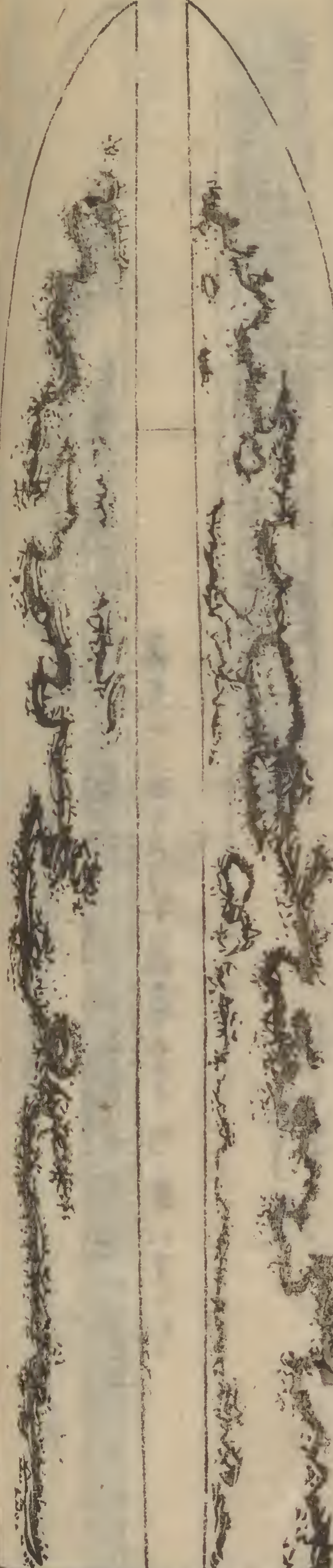
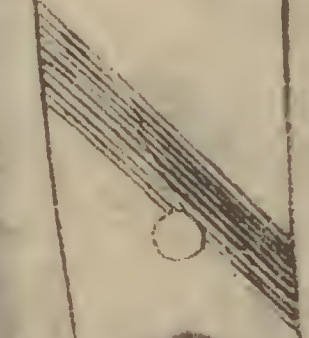
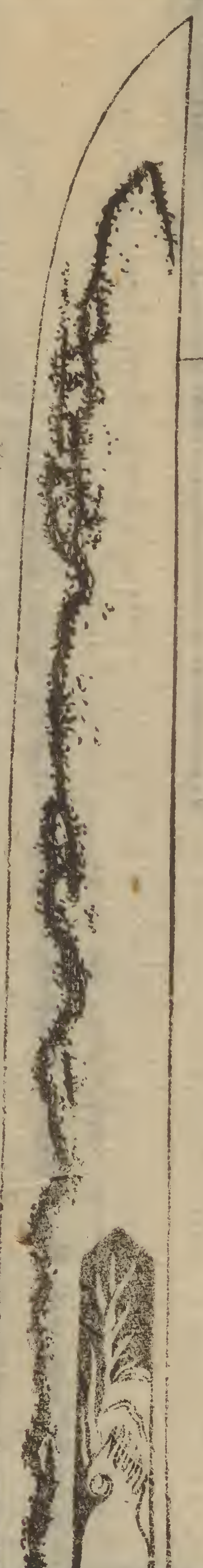
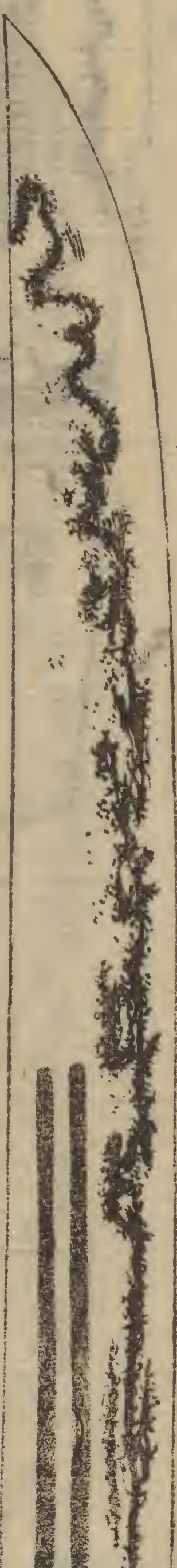
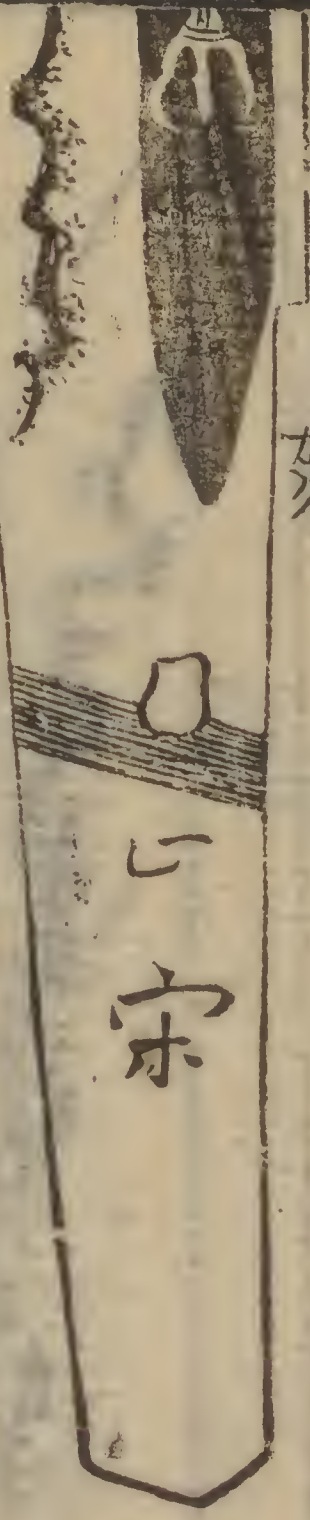
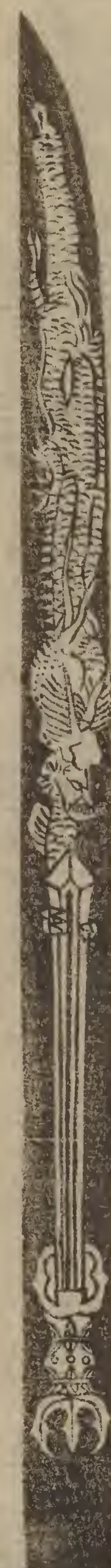
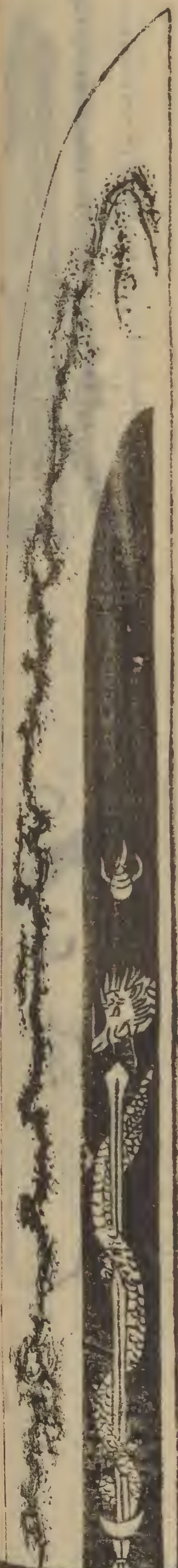
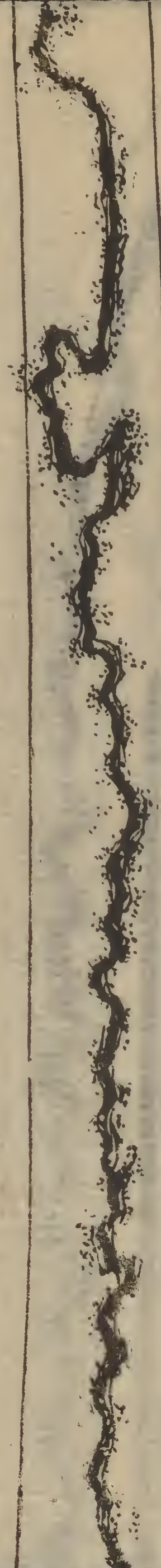
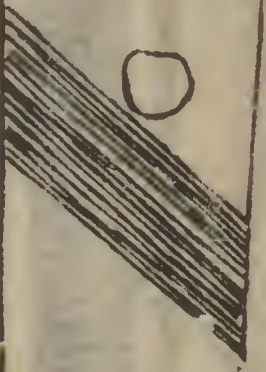
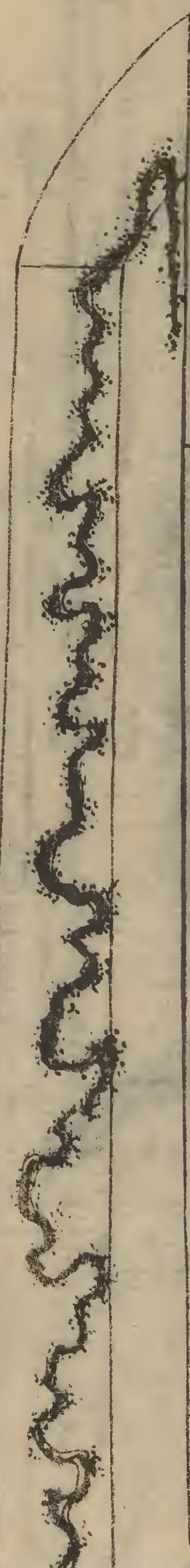
日

貞宗

ウラノ方ニアリ

貞宗刀無銘

相模国住人貞宗

表ノ方

表蓮花ノ上ニアリ

裏蓮花ノ上ニアリ

貞宗劔彫物身長サ一尺一寸

裏ノ方

貞宗剱 此表ハ腰樋添樋アリ

貞宗ノ剱

高木貞宗裏ノ方ニアリ

江州高木住貞宗

貞宗剱クリカラニツト毛樋ノ中ニ浮ボリナリ

○○山内○藤原国綱

国綱

山内ナリ

カク

カク

○相州○住秋廣

元ハ乙

○永○元

○相模○住人廣光

○貞○一年卯月日

カク

○越中

○

江義弘銘ヲ打ヿ希也

義弘刀

義弘ムメイ

カク

カク

義弘ノ上

小股差甚希ナリ

則重

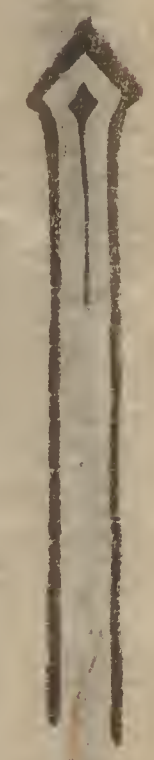
カク

カク

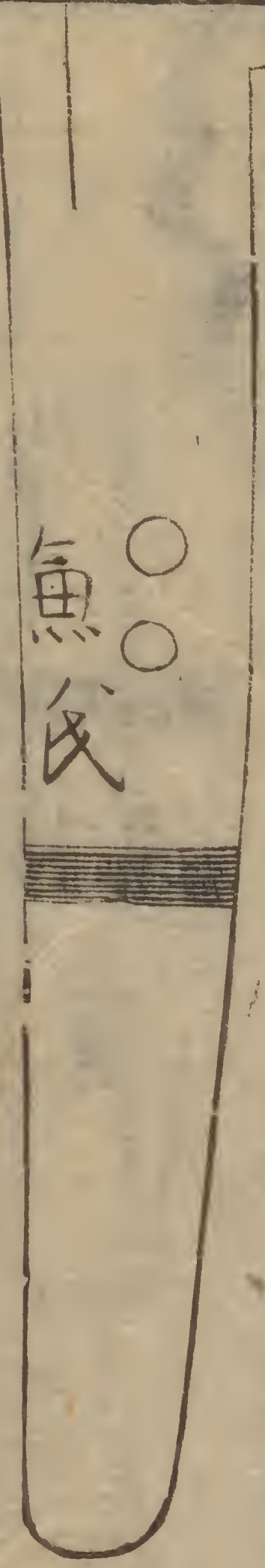
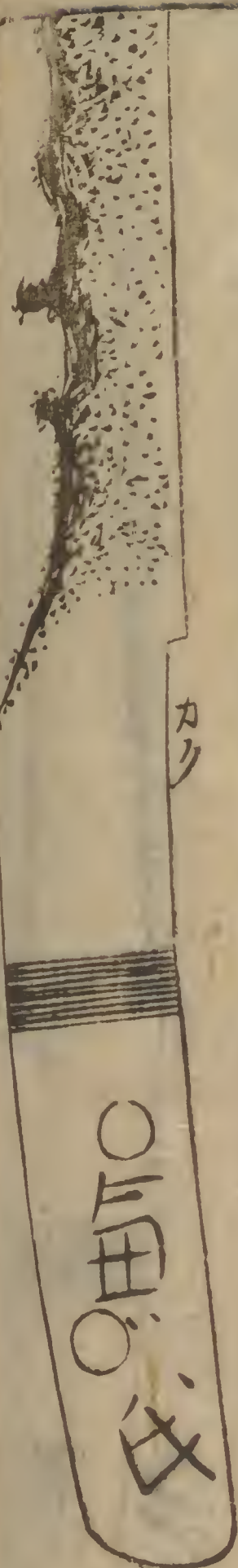
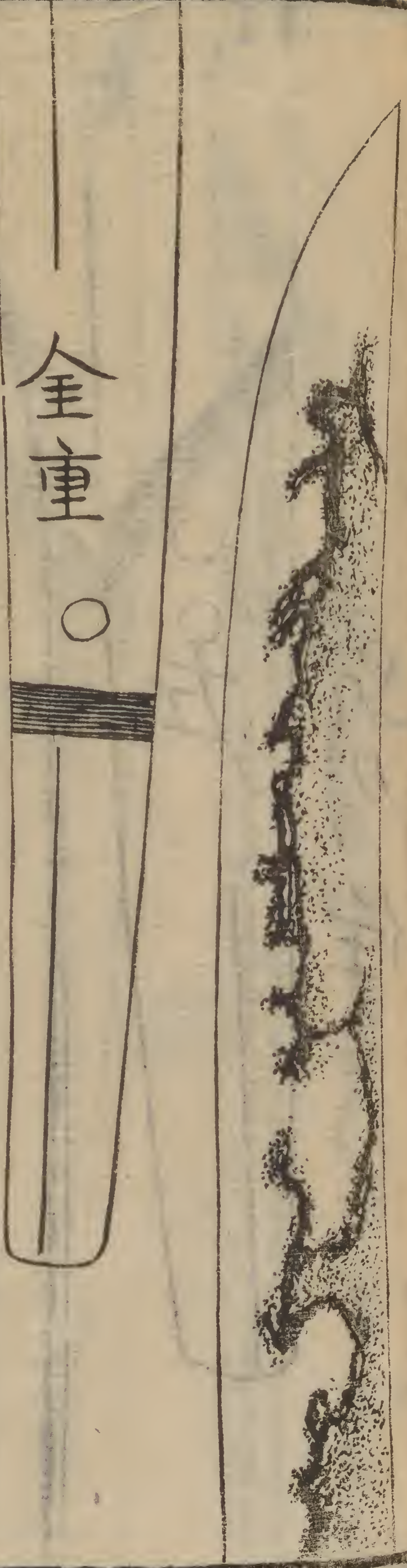
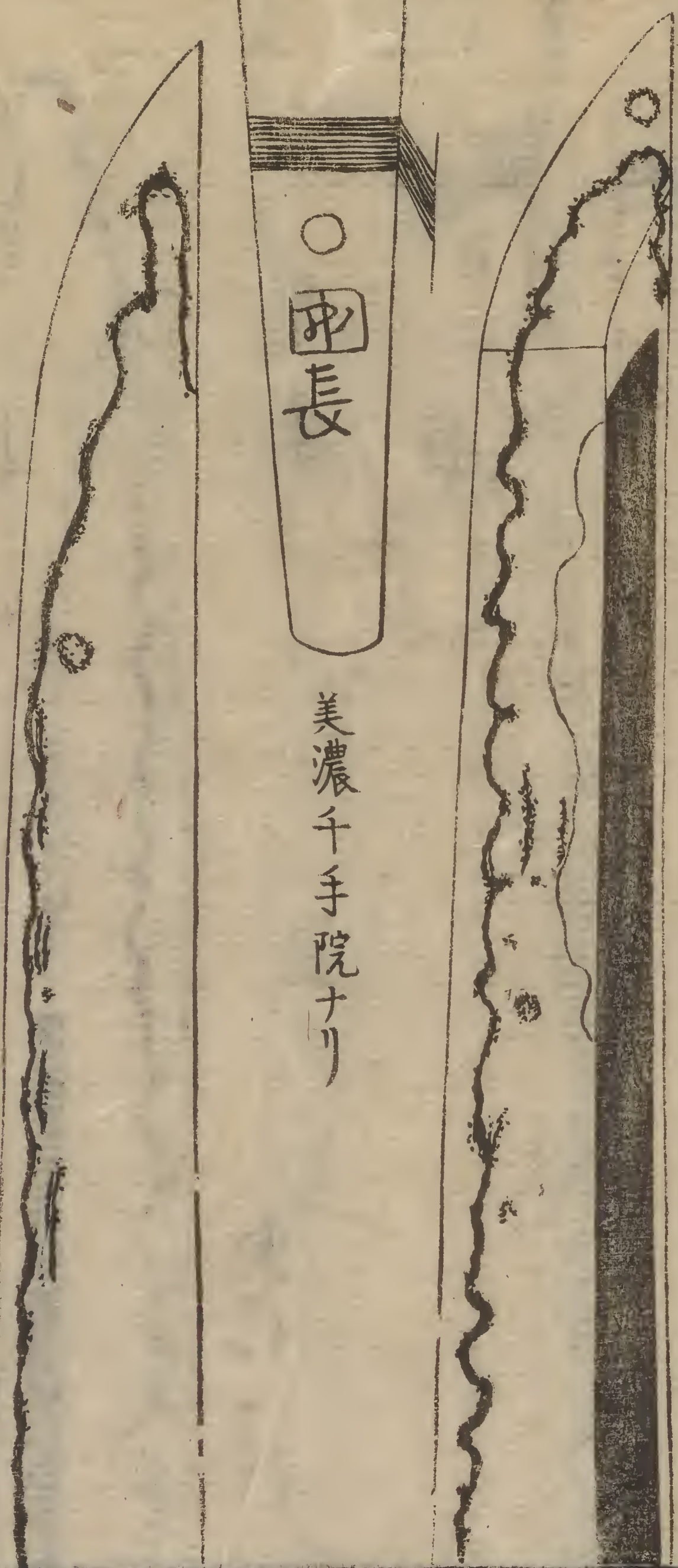
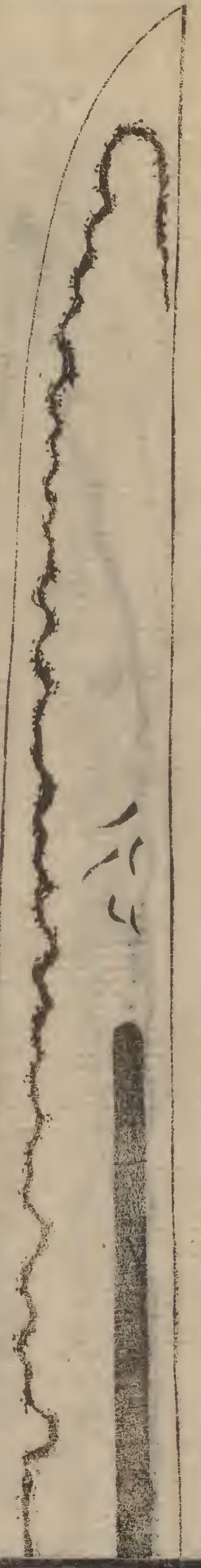
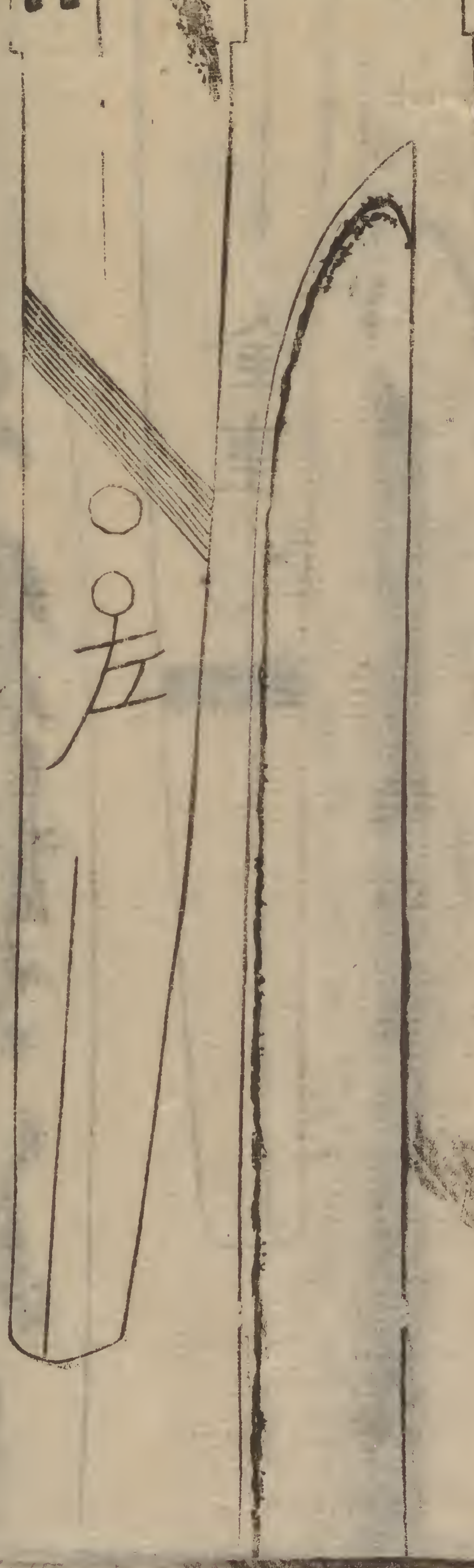
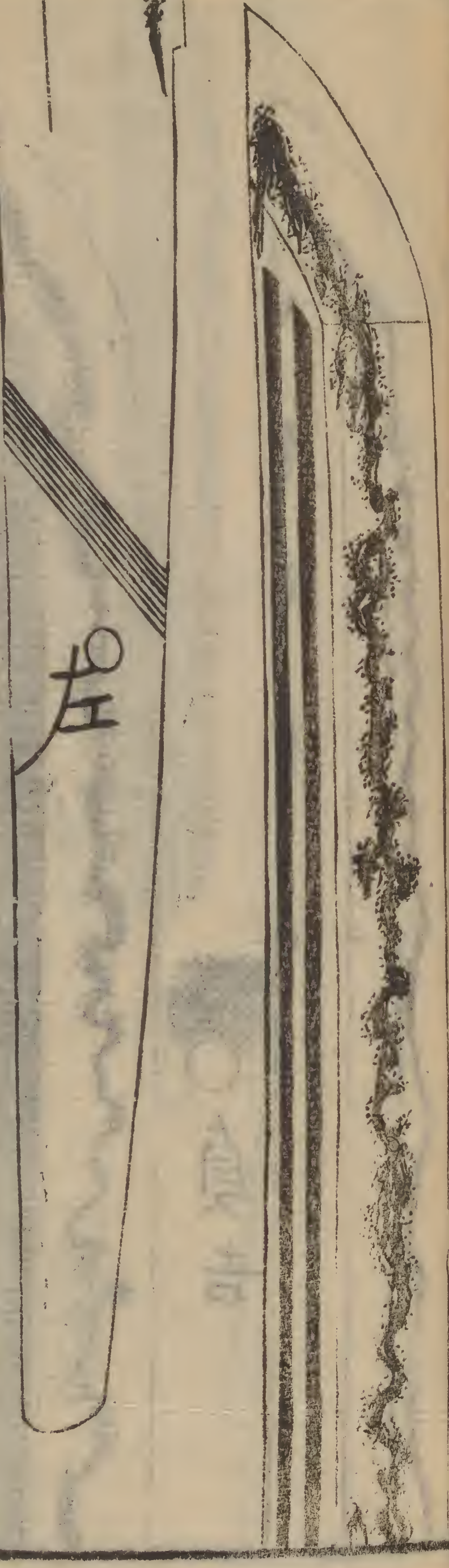
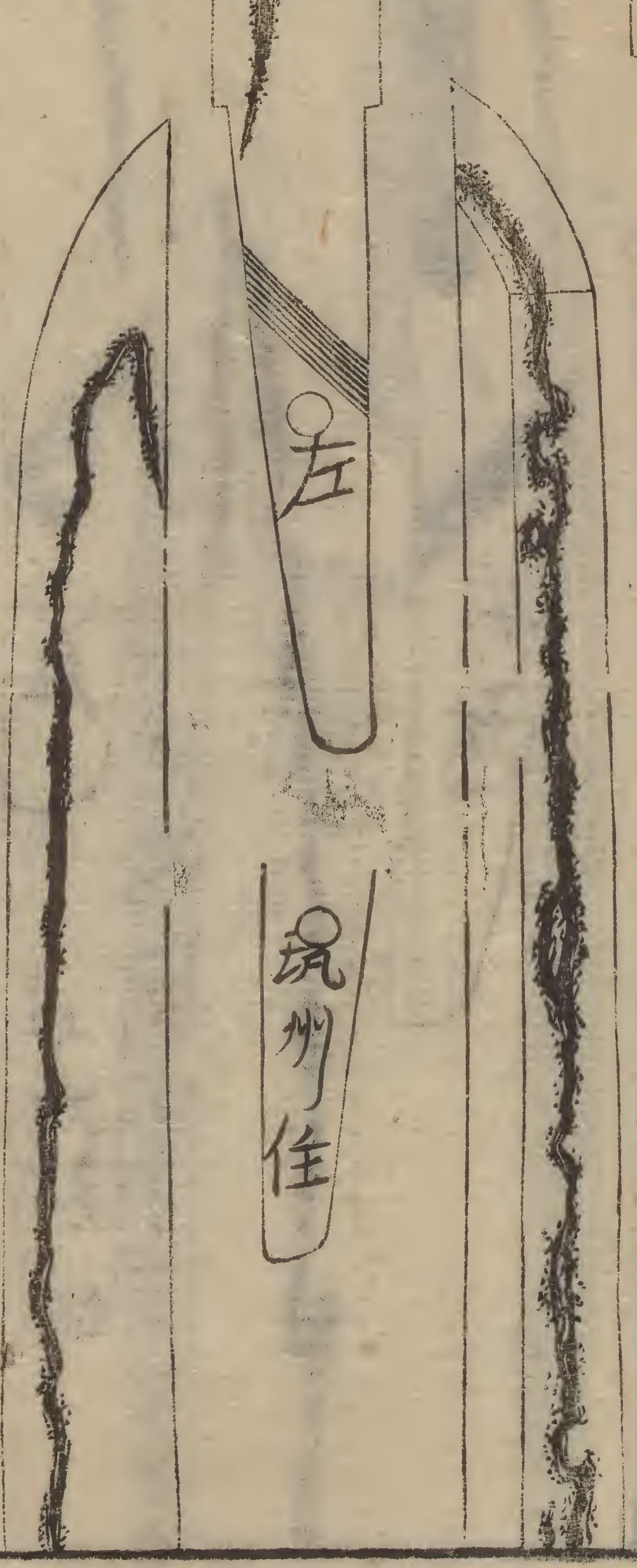
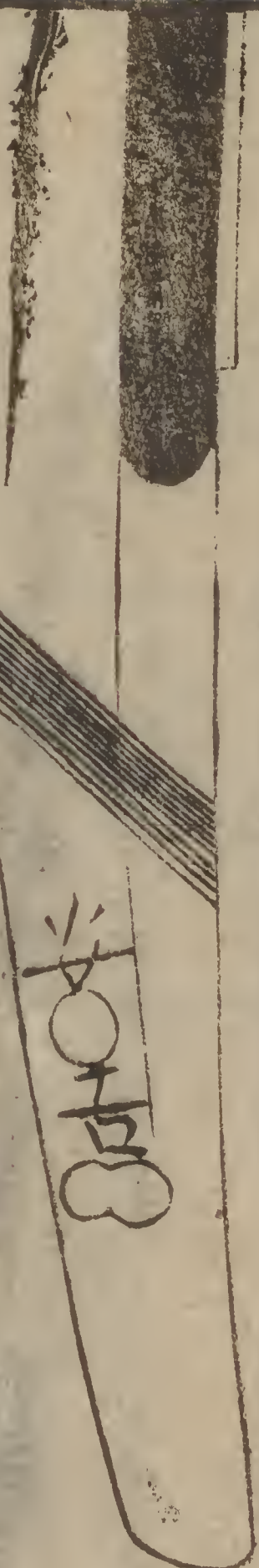
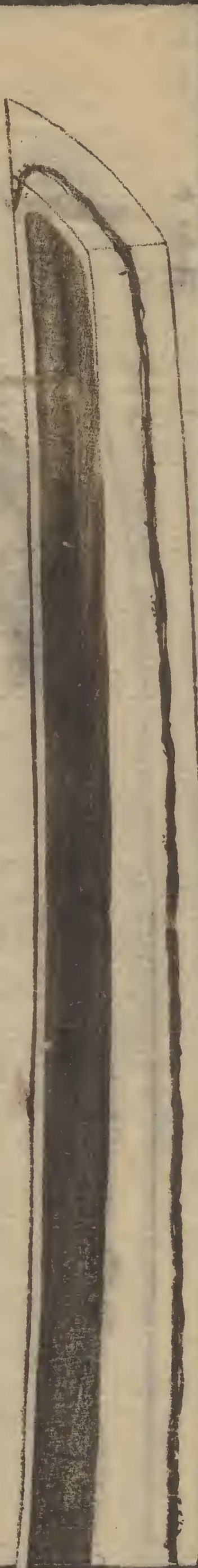
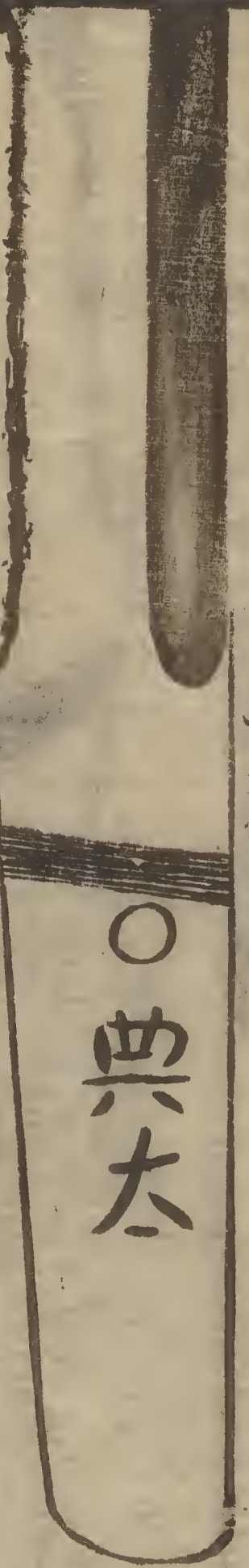
則重

カク

カク

則重

美濃

則重刀長サ二尺四分半無銘

○○
魚氏

カク

○
魚
○氏

○
金重

○
国長

美濃千手院ナリ

筑前

西蓮

無信

ヤスリ ヒガキ

筑州住

左

左

左

筑州住

○五

○筑州住

安吉

○貞吉

○筑後

○○

三池傳太

小ニク

○典太

〇長門

長州住安吉

貞治五

〇長州仁遠国

月 量

ム子肉

肉

〇備前

備前国助平

ム子丸レ

切

信平

三恒

此出来無類也

三恒

備前国則宗

助宗

則房
切
一
一
助真
吉平
ムウスク丸シ
ム子丸シ
先ソグ

一

助義

ワ丸レ

一

助光

吉岡住

国宗

国宗

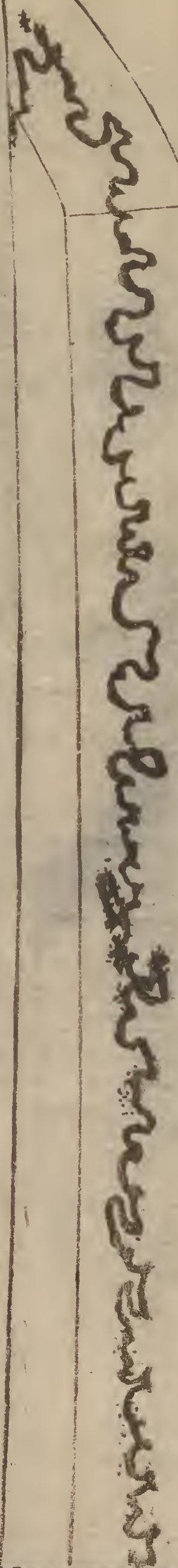
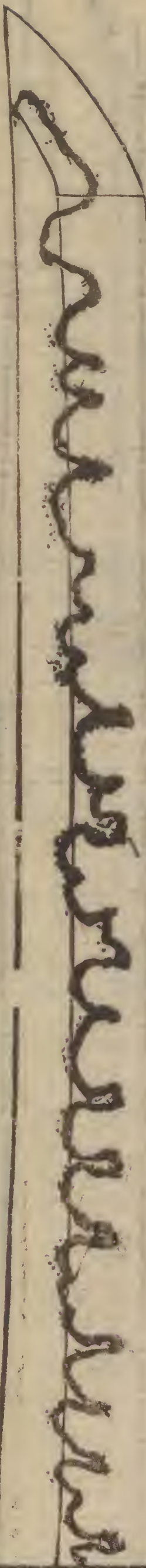
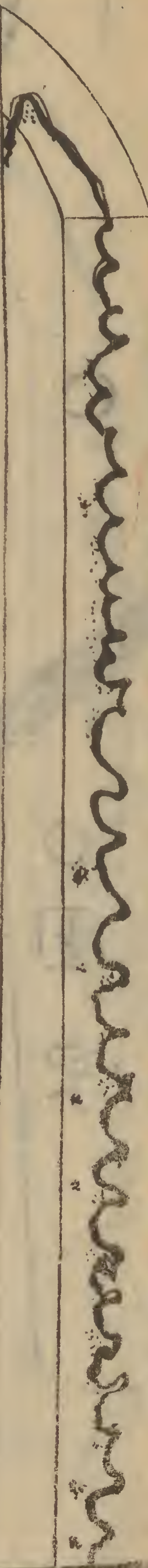
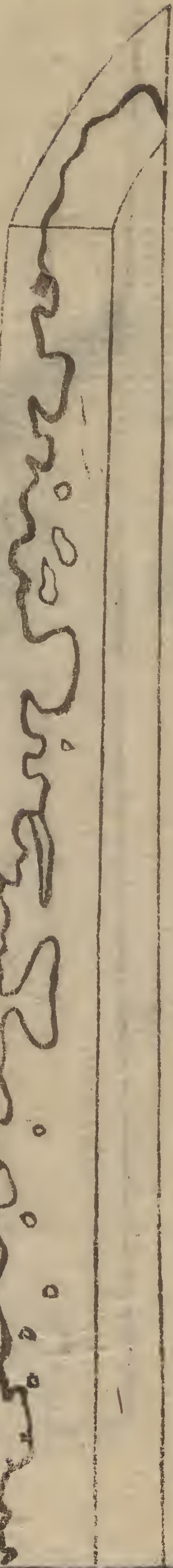
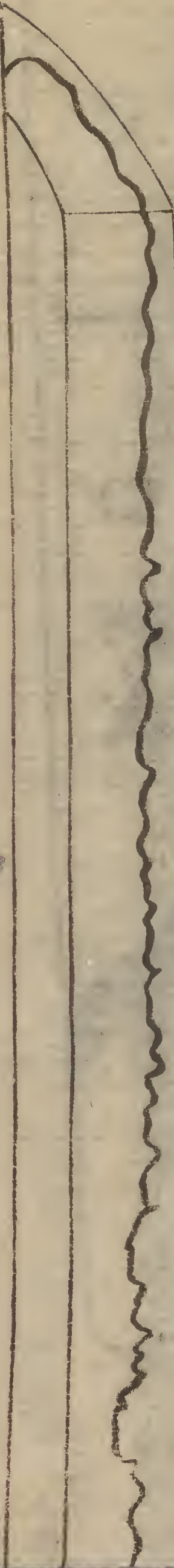
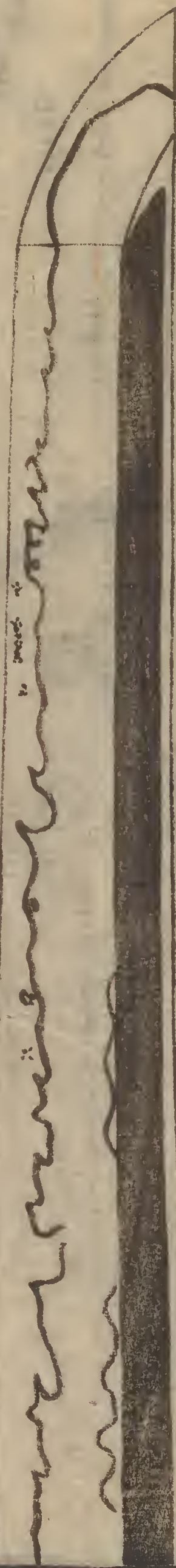
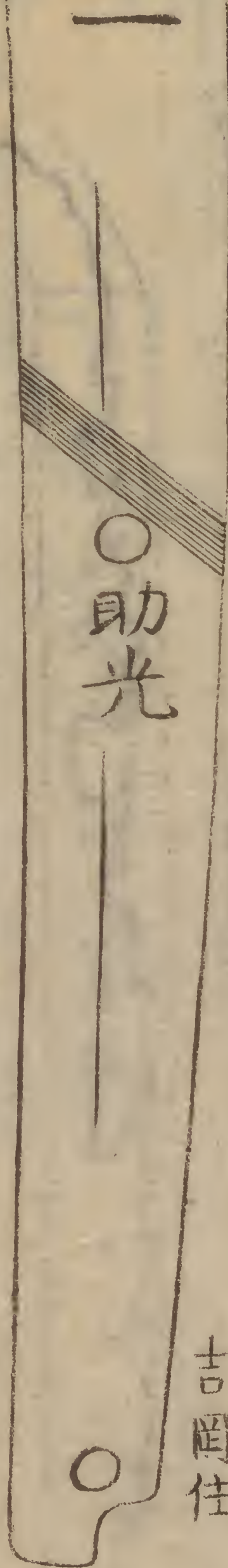
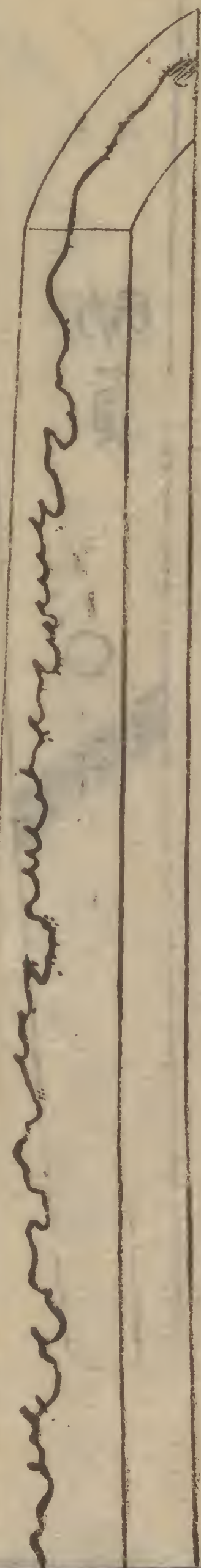
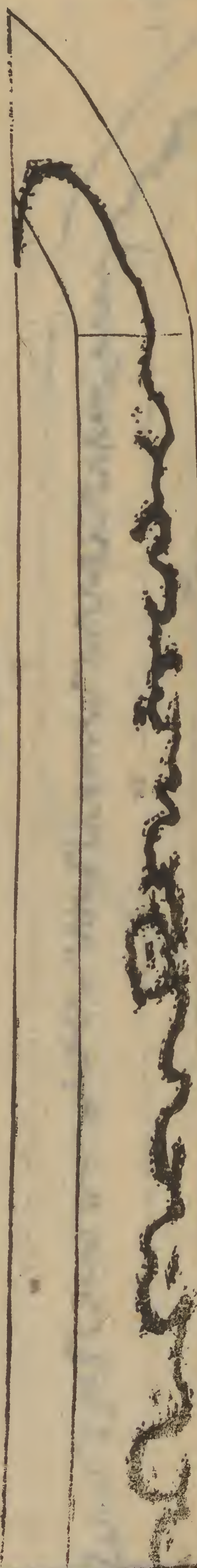
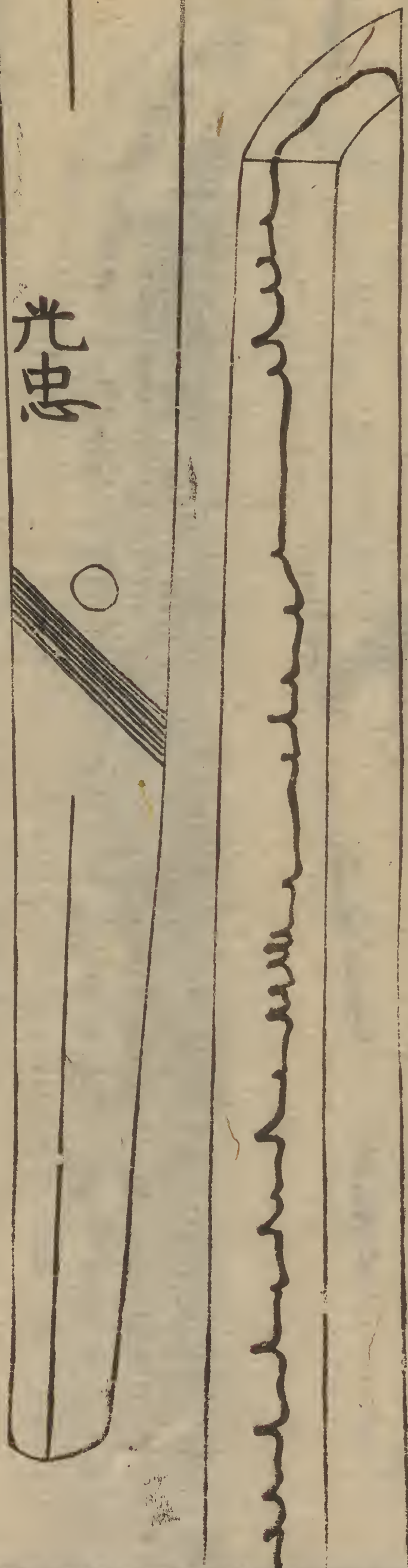
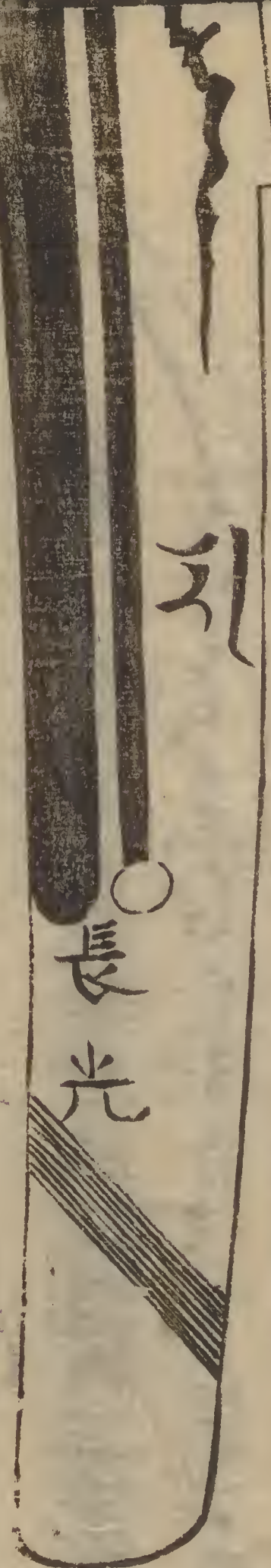
光忠

長光

長光

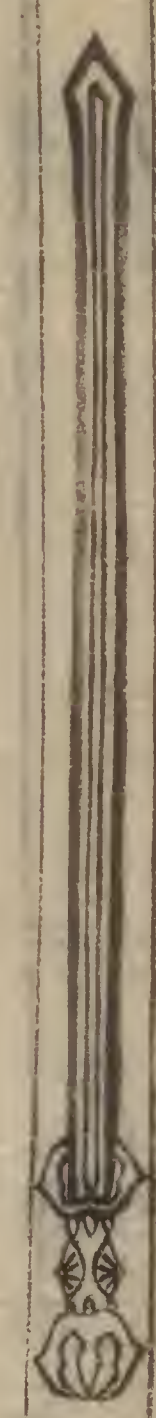
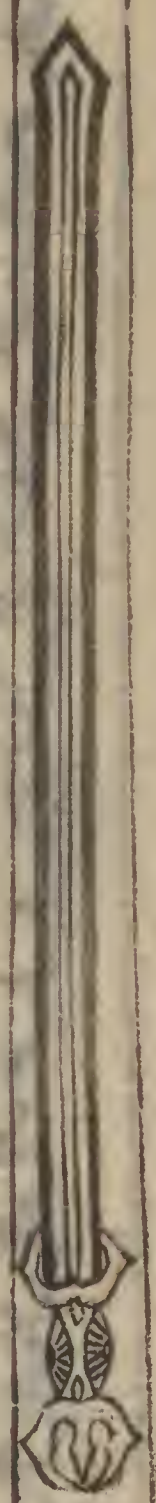
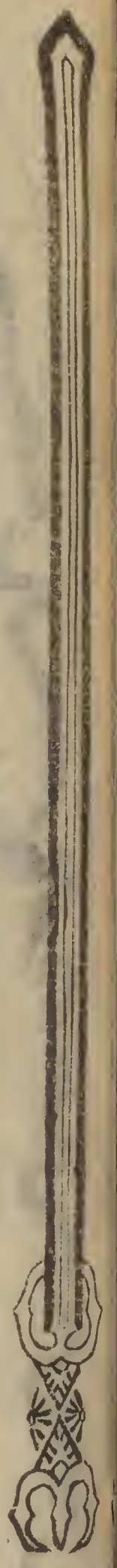
此梵字ウラニアリ

長光

〇備〇州長舩住景光

元徳二年正月日

備州長舩兼光

延文〇年六月日

備州長船兼光
延文五年六月日

元徳二年十二月日
備州長船兼光
一尺八分、中
カク
備州長船兼光
此下コヽヒアリ

兼光ホリモノ也

備州長船長義

應五年七月日

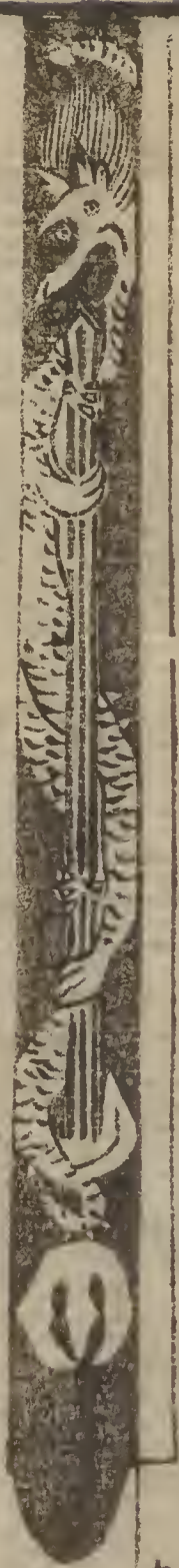
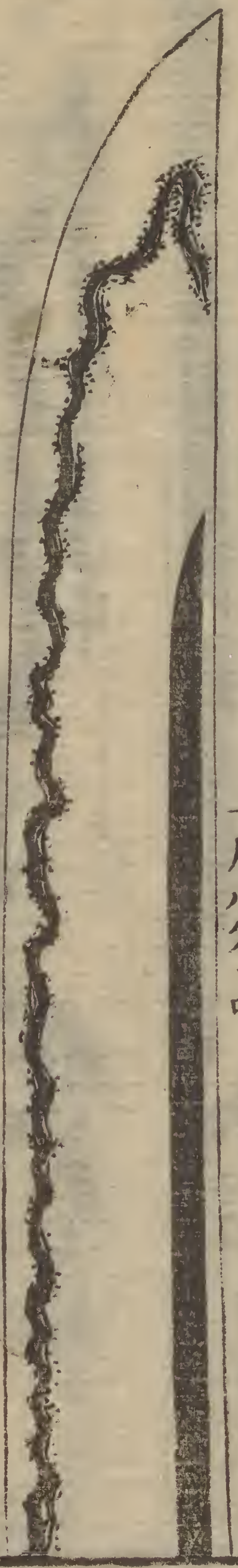
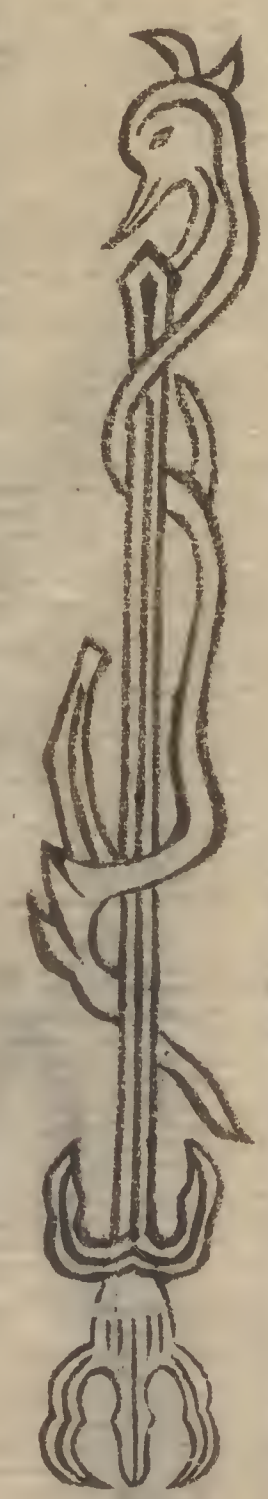
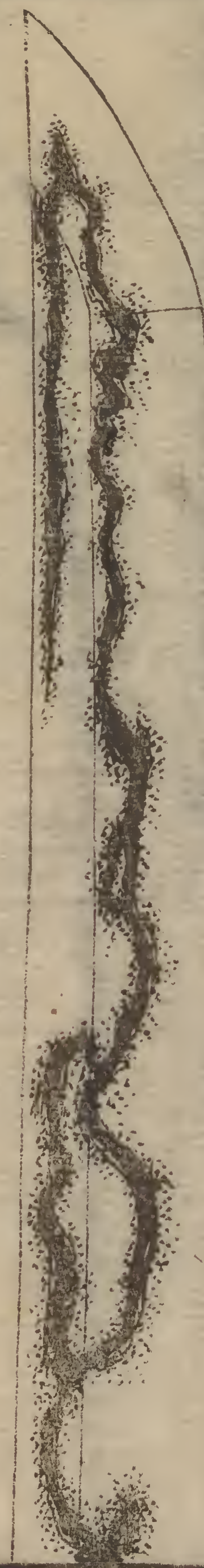
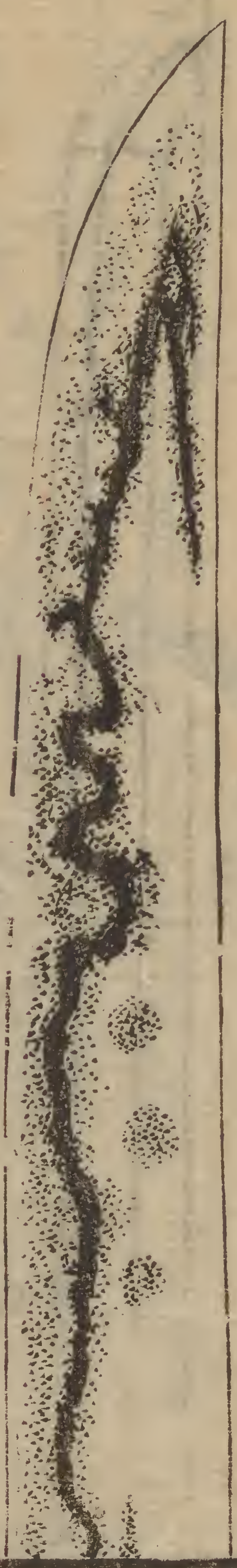
備州長船住長義

三年八月日

カク

カク

備州長船住長義

備州長船住近景造

文保元年五月日

切

出来長光ニヨク似タリ

長船長守

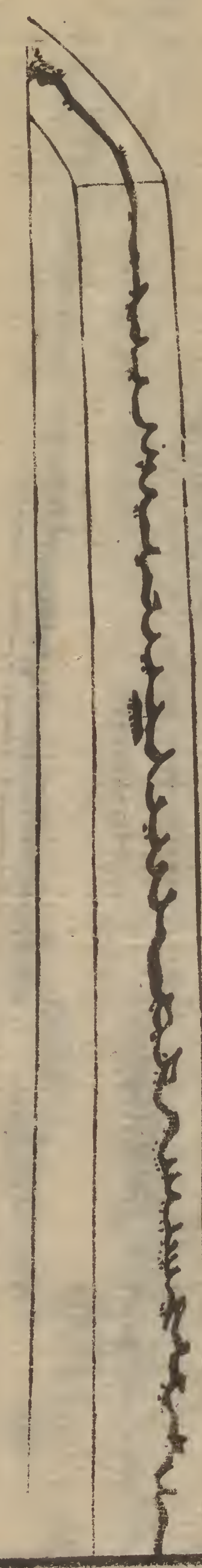
備州長船住長守

ウラニ嘉慶二年トアリ

備州長船景政

スリ上

切

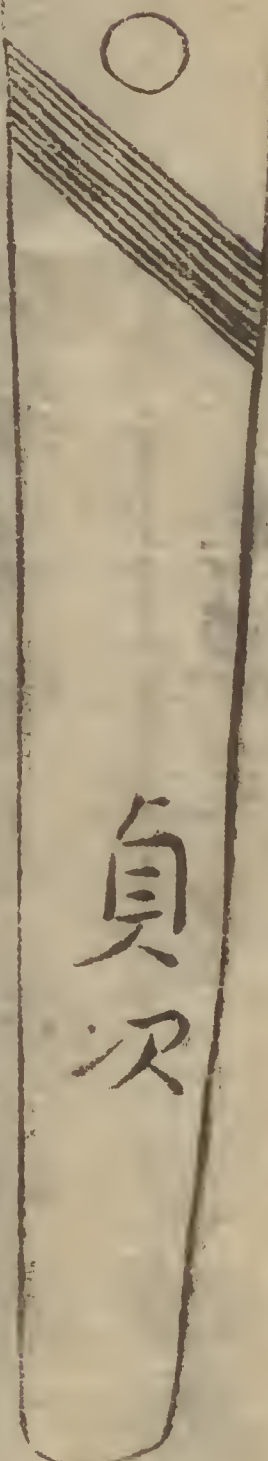
備州長船盛

ム子又肉アリ

地フ有テイカニモレンナリ細ニ沸モアリ

始ノ守家ナリ

守家

備州国分寺住人助国作

元徳元年十一月日

〇備中

貞次

番鍛冶貞次也

小ニク

備中國住青江大隅権介平貞次

後ノ貞次也

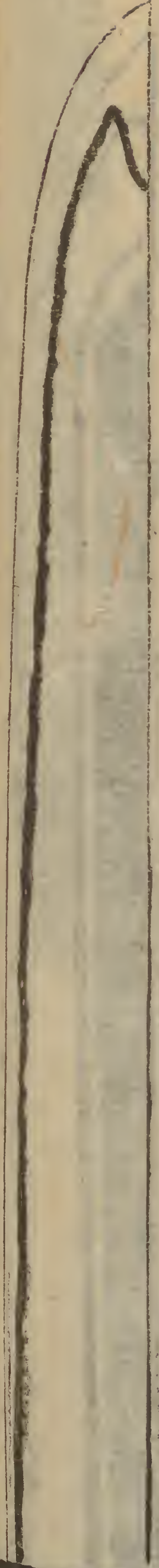
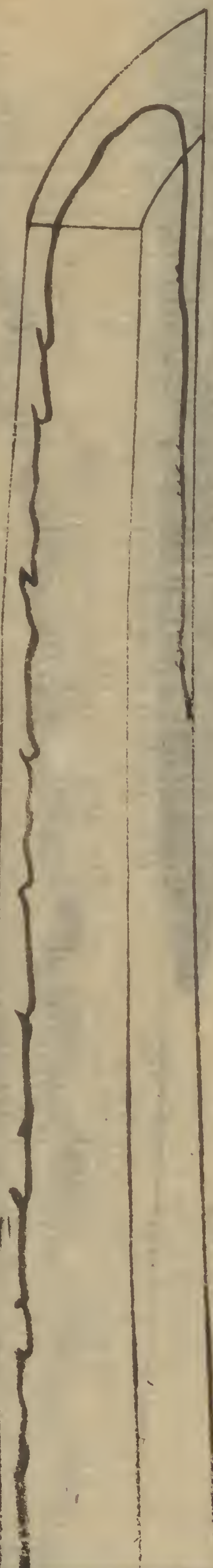
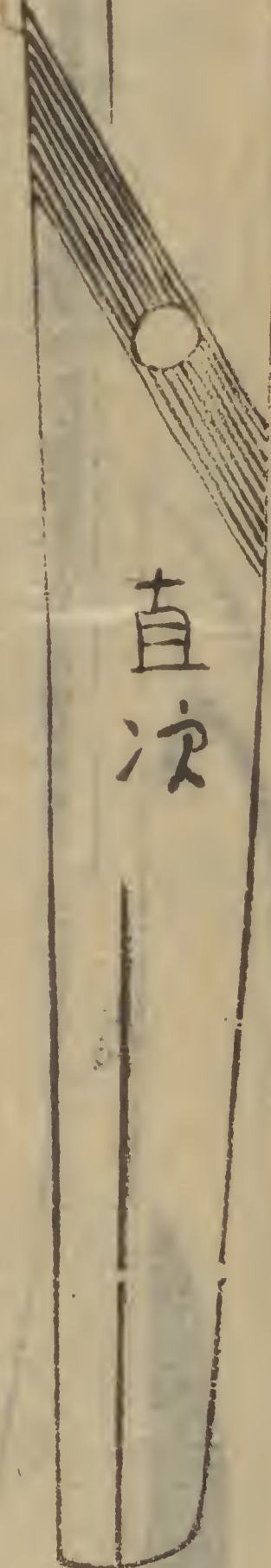
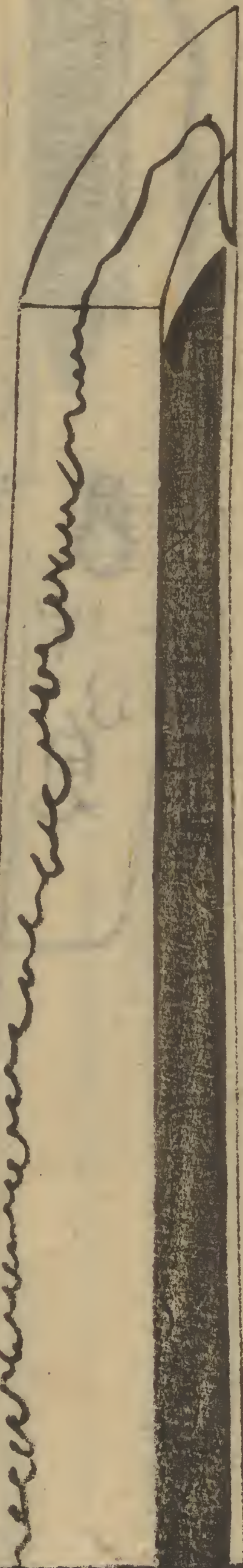
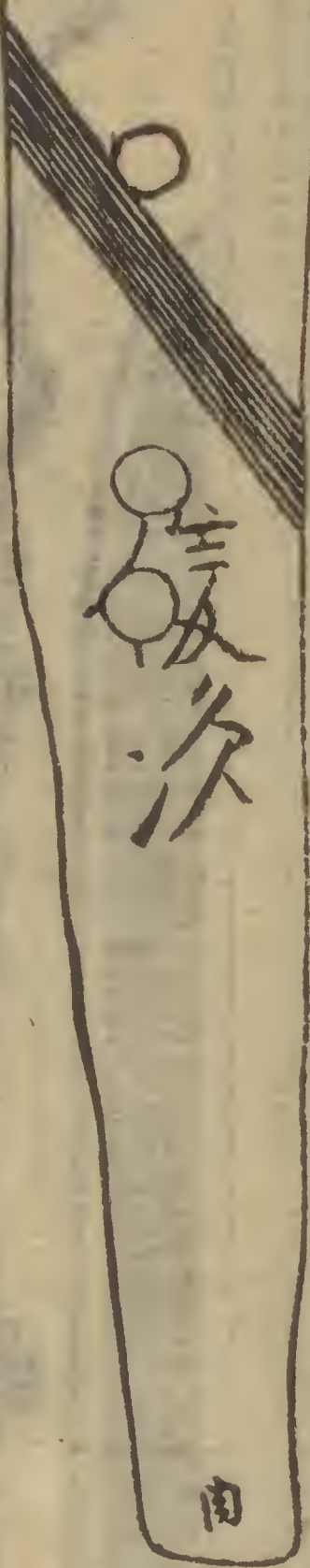
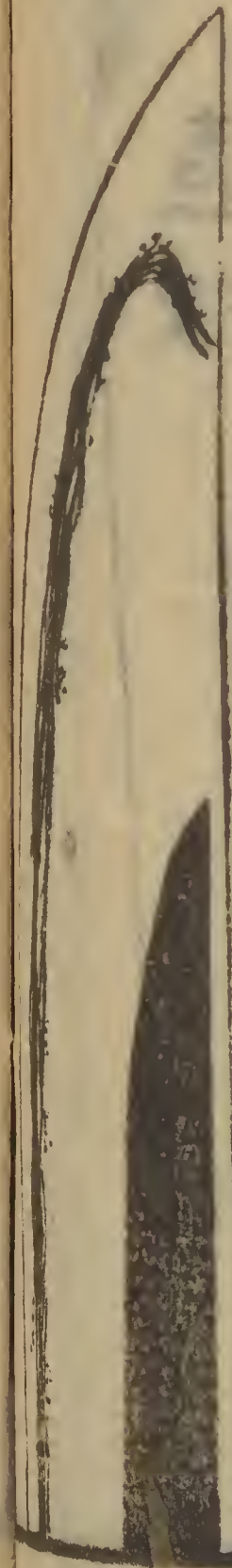
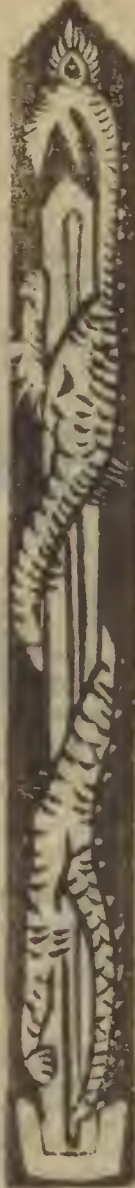
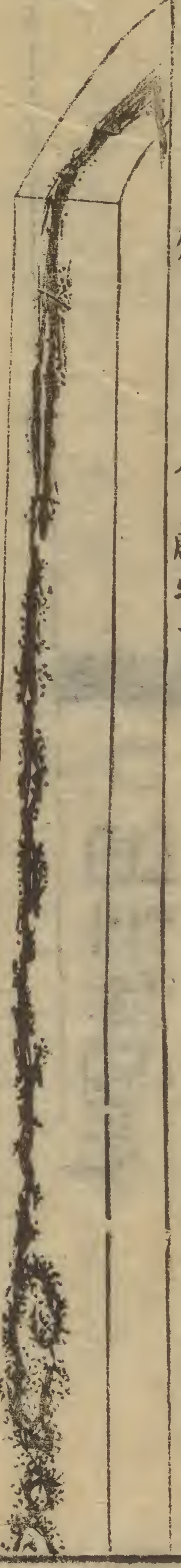
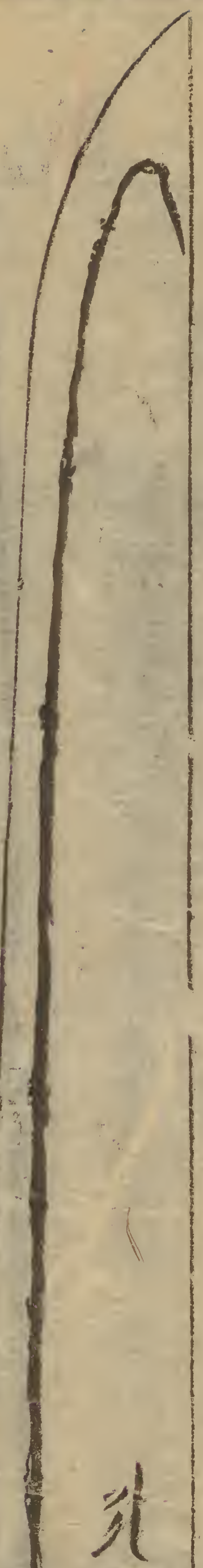
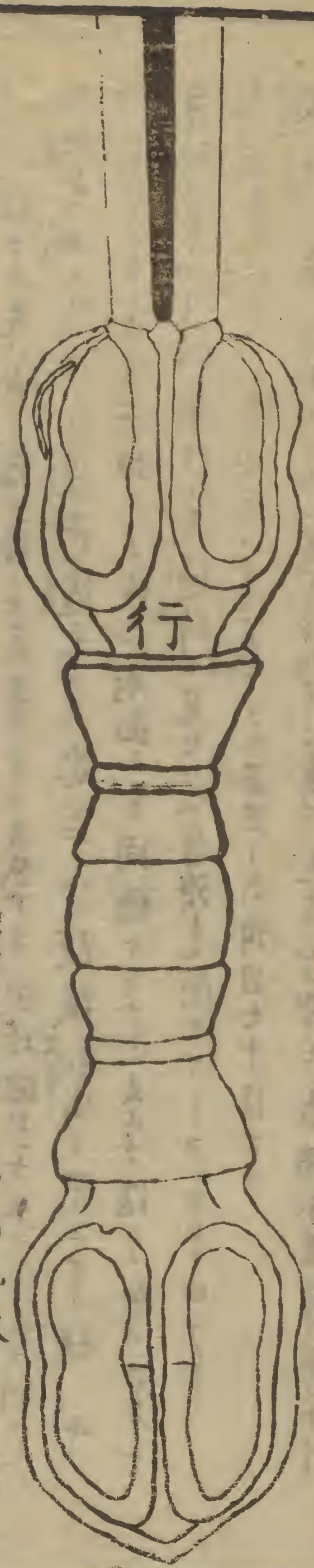
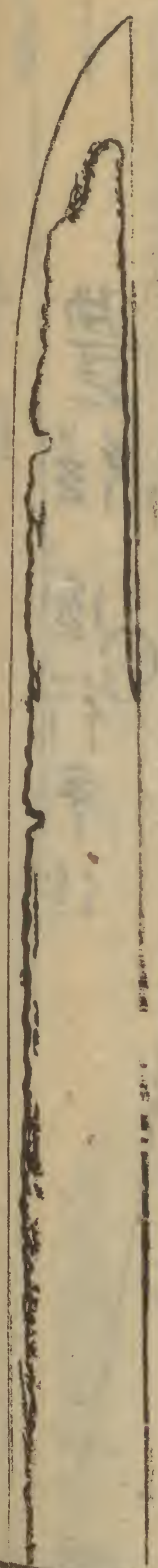
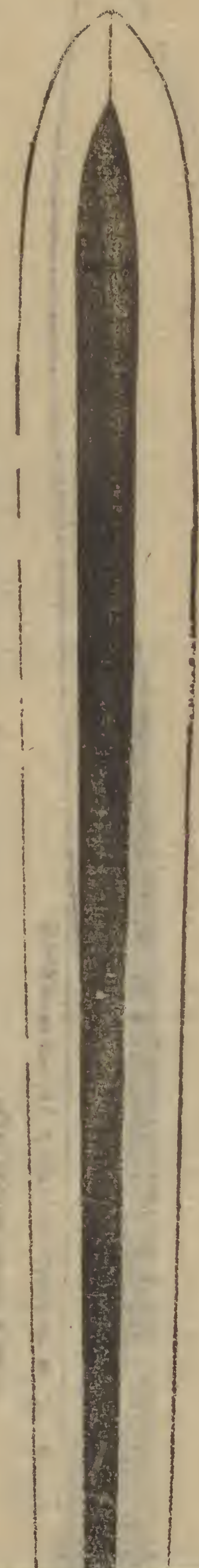
興國〇九〇〇八月日作

カク

俊次

カク

直次

肉

○豊前
沖
貞
○
貞
ツチメ也
○豊後
豊後國行平作
表ノ方中ホトニ大ク乱タル所モアリ
表ニアリ
裏ノ方マチヨリ一寸斗上ニアリ
豊後國行平作
焼ヲトシアリ例ノ彫物ナシ

此剣何分名人ノ作ト見エタリ尤 後醍醐天皇元徳或建武ノ頃好テ造セラルヽモノカ大和行平ハ永延ノ頃豊後行平ハ元暦ノ頃也両人共ニ時代古シ或ハ刀鍛冶ニアラザルモノヽ方

鞘ハ龍ノ高彫有コヒロノ所龍ノ口ニシテ剣ヲ呑形ニ作至テ古ク見事ナリ

由緒アル剱也

阿蘭陀ノ刀

厚サ

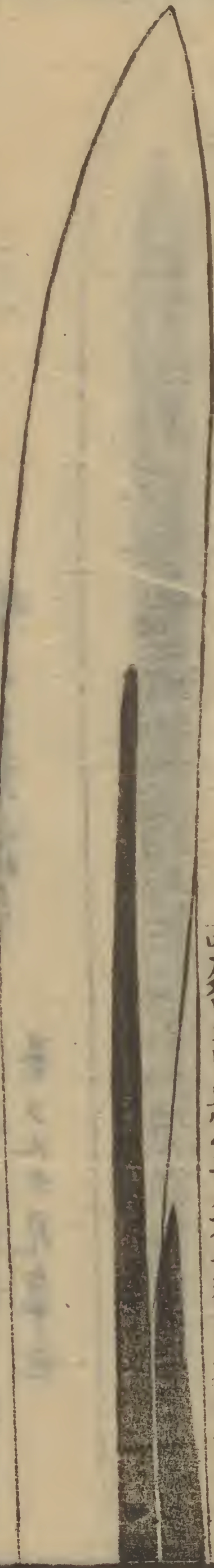
忠ツチノ穴ナシ

長サマチヨリ二尺九分又六分

ム子カクドシヽアリ

ム子厚サ

一寸アタリヨリ下刃ナシ

一寸アタリヨリ上ハム子ノ方モ刃アリ先ハ汲ノ如ク薄シ

刃シテ錵ナク先ハ至テ薄ク棟ノ方モ五寸斗ノ間刃アリ全体地カ子刃カ子ノ差別ナク
丸鍛也鎺ノ所一寸斗淡色遠夫ヨリ忠ニテハ一段鉄和成ト見エタリ樋ノ中
阿蘭陀ノ文字アル所樋至テ浅シ両面トモ同様ナリ尤文字消テ分リガタシ
寛政三年四月阿蘭陀ノ大通詞ニ見セル文字消タル所アリテヨメガタキ由ヲ申
尤二百年モ以前ニハ無之中古ヨリ作希ナル品也ト云掛目七十目アリ
鞘ハ皮ニテ表ニ地紋アリ中ニ薄キヘキ板アリテ其下ニモトロメンノ如キモノ有鞘形甚薄ク平メナリ